

二子こども文化センターご利用者さまアンケート集計結果

実施期間

2025年10月11日～10月31日

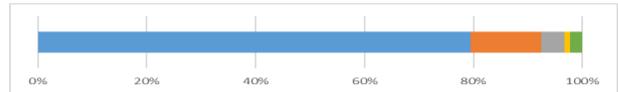
回答数

配布数 100 有効回答数 93 有効回答率 93.0%

集計結果 (単位:%)

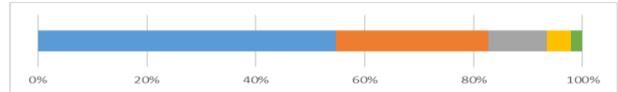
①こども文化センターは楽しく過ごせていますか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
79.6	12.9	4.3	1.1	0.0	2.2



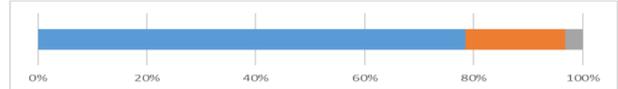
②こども文化センターの行事は充実していると思いますか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
54.8	28.0	10.8	4.3	0.0	2.2



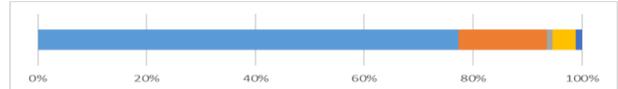
③施設の利用ルールは分かりやすく、安心して利用できますか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
78.5	18.3	3.2	0.0	0.0	0.0



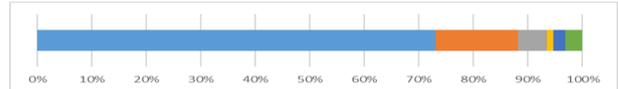
④施設の職員は対応がよく、相談しやすいと思いますか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
77.4	16.1	1.1	4.3	1.1	0.0



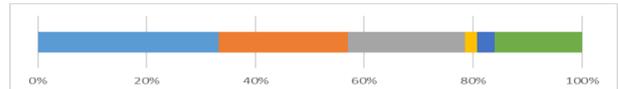
⑤施設の清掃は行き届いていると思いますか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
73.1	15.1	5.4	1.1	2.2	3.2



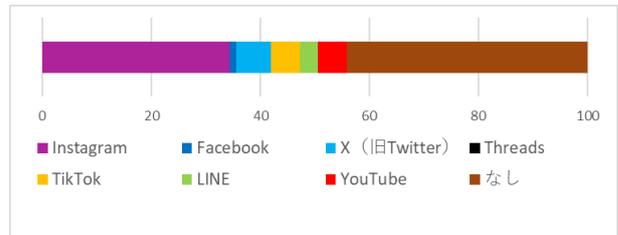
⑥HP・こども文化センター通信はわかりやすいですか？

そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう思わない	無回答
33.3	23.7	21.5	2.2	3.2	16.1



⑦一番よく利用するSNSについて教えてください。

Instagram	Facebook	X	Threads
34.4	1.1	6.5	0.0
TikTok	LINE	Youtube	なし
5.4	3.2	5.4	44.1



どのように過ごしているか教えていただけますか？

■乳幼児

乳幼児の利用は「2階(児童室／おもちゃルーム)」が中心で、塗り絵・おもちゃ遊び・絵本利用が最も多く見られます。滑り台やプレイジム等の遊具で身体を動かす利用も一定数あり、玩具を借りて遊ぶ(レンタル)スタイルが定着しています。

また、車のおもちゃ(トミカ等)で動き回る、飾りや時計を指さすなど、発達段階に応じた遊びの様子も具体的に記載されていました。

一部ではYouTube視聴の記載もありますが、全体としては「室内で安心して遊ばせられる場所」としての利用が中心です。集会室や遊戯室を併用し、食事を含めて過ごすケースも見られます。

■小学校1～3年生

回答数は多くはありませんが、カード遊び、ゲーム・テレビ、工作、イベント参加など、興味関心に沿った過ごし方が見られます。低学年は“遊び+工作(体験)”の組み合わせが一定数あり、イベントの有無に応じて参加する姿がうかがえます。

■小学校4年生

「ゲーム」が中心で、友達と一緒にゲームをする利用が目立ちます。加えて、本を読む／トランプや塗り絵／勉強など、静的な過ごし方も一定数あり、遊びの幅が広がっている層です。シール交換やお菓子を食べながら交流するなど、友達同士のコミュニケーションの場としても活用されています。

■小学校5年生

過ごし方の幅が最も広い学年層です。ゲームやカードゲーム、シール交換、集会室・テラス利用、読書、勉強、バスケット等の活動が混在し、友達と一緒に遊ぶ・学ぶ利用が複数見られます。

一方で、発言内容として「下ネタを言っている」といった記載もあり、年齢特性として言動面の課題が出やすい時期であることがうかがえます(※個別批判ではなく、利用環境づくりの参考情報として整理)。

■小学校6年生

ゲーム利用が中心で、スマホ利用や集会室での滞在、読書・勉強、友達との会話(くっちゃべり)など“交流型・滞在型”の傾向が強まります。宿題と遊びを組み合わせる回答もあり、放課後の居場所として機能している様子が確認できます。

■中学生・高校生・成人

中学生は、おもちゃ等で遊びつつ「意見箱」に要望を書くなど、運営参加(声を届ける)も見られます。

高校生は、マンガ利用と体育館利用が中心です。

成人は卓球利用が多く、仲間同士の打ち合わせや木版画の勉強会など、地域活動・学習活動の場としても活用されています。

こども文化センターでやって欲しい行事はありますか？

■乳幼児

乳幼児向けでは、クリスマス、プラレール・トミカ、ボールプール、工作(幼児向け)など、年齢に合った“遊びの体験機会”への希望が多く見られます。

また、音楽会・コンサート、交流会、読み聞かせ／わらべうた／手遊び、体操など、親子で参加しやすい内容への関心が高い傾向です。

土日開催(パパも参加できる)の希望や、動物愛護・食育・地球環境など“学び”を含むお話し会への提案もあり、行事内容に幅広い期待が寄せられています。幼児親子向けのお菓子作りなど“食”をテーマにした希望も確認できます。

■小学校1～3年生

カード遊び大会、うちわ作り、射的イベントなど、参加しやすい企画や工作・遊び要素のある行事が挙がっています。映画上映について具体的な作品希望(トムとジェリー)もあり、映像系企画への需要も一定数うかがえます。

■小学校4年生

ゲーム大会、レジン、運動・スポーツといった、ものづくりと身体活動の両方が希望されています。

■小学校5年生

お化け屋敷、シール限定フリーマーケット(複数)、ジェンガ、スイーツ祭り、スポーツ大会(苦手な人もできるもの)、ゲーム大会(バウンティ関連)など、独自性の高い企画提案が目立ちます。

また、学校対抗ドッジボール(複数)など、競技性と対抗要素を楽しみたいニーズも確認できます。

■小学校6年生

「お祭りのような行事」、餅つき、川の掃除、スマブラ大会、フリマ、塗り絵大会など、地域参加・季節行事・大会形式が並びます。体験と交流をセットで楽しみたい希望が見られます。

■成人

フェスティバルや餅つき、発表会(研究等)など、地域交流・学びの成果発表を含む企画への希望が挙がっています。

こども文化センターに望むことや不満を感じていることがあれば教えてください。

本設問は、満足・感謝の声が多い一方で、設備面・運用面の具体要望も一定数あります。内容を整理し、傾向としてまとめます。

■乳幼児(設備・運用・継続への願い)

2階玩具の電池切れへの対応希望(電池交換、電池切れBOX設置など具体提案を含む)

玩具数の増加希望

施設の老朽化に関する指摘(「古すぎる」「綺麗にしてほしい」「リフォーム」「明るく使いやすく」等)

一方で「満足している」「十分楽しめている」「なくならず続いてほしい」「いつもありがとう」といった肯定的意見が複数

集会室を“大人1人・子ども1人”でも短時間利用できる仕組みへの要望(ボール遊び等)

年長児と未就園児のきょうだい利用に関する課題(上の子が小学生になると児童室で一緒に遊べなくなることへの残念さ)

年齢に合わせたイベント(例:1歳児向け)の希望

お祭りを増やしてほしいという要望

■小学校1～2年生

ゲームへの関心(「ゲーム」)

ドッジボール大会希望

テレビ視聴環境への評価

ピアノ利用希望(ピアノを出してほしい)

■小学校3年生(飲食スペース・行事)

お菓子スペースの拡充(場所を広く/座席・机を大きく)

イベントを増やしてほしい

■小学校4年生(環境整備・備品充実)

ゴミ箱設置希望

トイレをきれいにしてほしい

カードゲーム(例:トランプ)を増やしてほしい

集会室の物品を増やしてほしい

マンガ(例:ヒロアカ等、別のアニメ作品)を増やしてほしい

遊び道具を増やしてほしい(複数)

■小学校5年生(ゲーム環境・集会室運用・静かな環境)

ゲームやスイッチ環境の拡充希望(台数・機会・テレビでスイッチ等)

集会室の利用時間延長、連続利用(2回連続で使いたい)への要望

「もっとイベントをたくさん」等、企画増加希望

ロッカー復活の要望(複数)、図書室でゲームをしないでほしいという利用マナー・ゾーニングの意見

塗り絵の種類増加希望

読書のために静かに読める場所がほしい(ゲーム利用時に騒がしいことがある)

一方で「十分」「充実している」「特にない」といった満足意見も複数

■小学校6年生

「今で十分」とする満足意見

大きいボールの要望

ルールをやさしく(分かりやすく/柔軟に)という意見

■中学生

卓球 Day(卓球の利用機会)を増やしてほしい

■高校生

バスケットができるようにしてほしい(複数)

■成人

現状満足、利用への感謝

こども文化センター以外でよくいく場所があれば教えてください。

乳幼児は、公園利用が中心で、加えてマルイ・ノクティ等の商業施設、二子玉川(ライズ・高島屋周辺)、屋上庭園やキッズスペース、支援センター(たまご)など、“外出先の遊び場”を複数活用している傾向が見られます。

小学生は、公園・家・友達の家が中心で、坂戸公園の利用が多く挙がっています。あわせて図書館、緑道、商業施設(マルイ、ゲーセン、ノクティ、ロフト等)も一部に見られ、学年が上がるにつれて行動範囲が広がります。

中学生は公園やスポーツセンター等、活動拠点が分散し、成人は自宅のほか大山街道ふるさと館など地域施設の利用が見られます。

■ 全体傾向まとめ

乳幼児は2階を中心に、玩具・絵本・塗り絵・遊具で遊ぶ利用が主流で、親子の“日常的な遊び場”として定着している。

小学生は学年が上がるにつれ、ゲーム・集会室・友達との交流が中心となり、5～6年生ではスマホ利用や滞在型の傾向も見られる。

高校生・成人は体育館/卓球など、活動目的が明確な利用が一定数ある。

行事希望は、乳幼児では親子参加型(工作・音楽・読み聞かせ・体操等)と土日開催への期待が強く、小学生では大会形式・お祭り・フリマ・スポーツ・ゲーム系が中心。

改善要望は、①玩具(特に電池切れ対策)と備品の充実、②施設の老朽化・明るさ・トイレ等の環境改善、③飲食スペースや静かな読書環境の確保、④集会室の利用時間・連続利用など運用面、に整理できる。

全体として「満足」「ありがとう」「続いてほしい」という声が多く、地域の居場所として高い評価を得ている一方、快適性向上に向けた具体的改善提案が寄せられている。

今後もいただいたご意見を参考に、より安心して利用できる居場所づくりに努めてまいります。